

2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

FUKUYAMA SOUTH ROTARY CLUB



1

Vol.

2014年 7月号

創刊号



福山城

CONTENTS

[ガバナー月信7月号]

ガバナーメッセージ・略歴..... 2~3	前年度役員への御礼..... 7	主要日程表..... 13
RI会長メッセージ・略歴..... 4	2014-15年度組織図..... 8~9	ガバナー補佐紹介..... 14
地区研修リーダー挨拶..... 5	青少年交換長期派遣学生募集要項..... 10	会長・幹事さんへのお願い..... 15
直前ガバナー挨拶..... 6	地区関係資金収支予算書(案)..... 11	文庫通信..... 15
地区代表幹事挨拶..... 6	公式訪問予定表..... 12	地区大会予告広告..... 16



2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



第2710地区会員の皆様へ 「奉仕(Service)を学び、ロータリーを楽しもう」

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 金子 克也

ガバナー・マンスリーレターは、ポール・ハリスが各クラブ会長への所信を述べる手紙を書き、夫人が宛名を書いて投函した事に始まります。慣例に倣って所信の一端を13回述べ、送付する予定です。まず1回目は、年度初めの所信表明です。

皆様は既にPETSや地区研修・協議会に出席されたクラブ指導者から説明を聞き、本年度に向けて十分な用意をされていることと思いますが、本年度開始にあたり、あらためて、RI会長テーマと強調事項及び私のガバナー信条を確認し、皆様と共にこれらの目標達成を目指して、この1年間ロータリーライフを楽しみたいと考えています。

去る1月13日から5日間、アメリカ西海岸サンディエゴで国際協議会が開催されました。国際協議会初日、本年度RI会長 ゲイリー・ホアンさんが次のように御挨拶されました。

「私達は、皆ロータリーファミリーの一員であり、この一世紀の間に、真に国際的なボランティアのネットワークを作り上げました。そして、違いを乗り越えてお互いに手を結べば、驚くべき事を達成できることを実証しました。これからも、ロータリアンは、高い奉仕目標を掲げ、ロータリーファミリーを拡大する必要があります。2014-15年度には、ロータリーに奉仕し、皆でこれらを分かち合い、強力なクラブを作り、地域社会にロータリーの存在感を高めロータリーに輝きをもたらしましょう。「LIGHT UP ROTARY」と、力強くテーマを発表され、フロアーの全員が立ち上がり、大きな拍手が続きました。続いて、3つの強調事項を掲げられました。

1. ロータリーの奉仕をみんなで分かち合い、クラブを強化し地域におけるロータリーの存在感を高めましょう
2. 会員数130万人の達成。地元で“ロータリーデー”を開催し、会員増強に繋げましょう
3. ポリオの撲滅
1979年ポリオ5ヶ年計画が始まって以来35年、ロータリー会員を含む多くの関係者のご努力の御陰で、患者数、発生国数共に著明に減少しました。絶滅は、地平線に見えてきました。私達は、世界の人々との約束“ポリオの撲滅”を果たすために、引き続き倍旧のご努力を御願い致します。

強調事項の2つ目、“ロータリーデー”について、簡単に説明しておきます。

ロータリーデーとは、

1. 地域の人々に、楽しみながら情報を学んでもらうイベントを開催し、ロータリーを紹介するという、とてもシンプルなものです。大切なことは、参加者が楽しみ、関心を持てるようなイベントにすることです。
 2. どんなイベントを行うか？
 - (1)屋外でのピクニックやバーベキュー大会、スポーツ行事やコンサート、家族向けのマラソン大会、地元のお祭りやイベントに併せた催し、チケット制のレセプションや夕食会
 - (2)イベントの一環として、参加型の奉仕活動を行う。参加者は、ロータリーの活動を体験することにより、ロータリーに好印象を持つ事ができます。
 - (3)ロータリアンでない人で地域でロータリーの理念を実践している人を、表彰したり、紹介しましょう。
- これらの3つの強調事項を、世界の34,000のクラブが地域で達成し、ロータリーの認知度を高め、輝くロータリーを築きましょう。

次は、地区ガバナー信条および運営の重点方針と目標です。

私は、ガバナー信条を“奉仕(Service)を学び、ロータリーを楽しもう！”としました。“奉仕(Service)を学び、ロータリーを楽しもう！”が、ガバナー信条です。

従来国際協議会の研修会場入り口に掲げられていた、有名なスローガンがあります。それは、“Enter to learn, go forth to serve”(入って学び、出でて奉仕)です。私は、この言葉をservice(奉仕)を学び、実践せよと受け取っています。ロータリーの神髄はこのservice(奉仕)に尽きるんだな。ならば素直に、楽しみながらService(奉仕)が出来たら一番いいじゃないですか。楽しみながらservice(奉仕)しようじゃありませんか。

地区運営の重点方針として

RI会長のスローガン“LIGHT UP ROTARY”は、会員一人一人が輝きを増し、輝くクラブを築けば、ロータリーは輝かしいものとなります。個人やクラブが輝くために、次の6つの重点方針を立てました。

- (1)職業奉仕の学習と実践
 - (2)会員増強(各クラブ純増1名以上、純増達成地区)
 - (3)積極的な奉仕活動
奉仕活動の参加の熱意をより高めねばなりません。ロータリー財団資金使用に際しては、財団ルールをよく学習し、ニーズのあるプロジェクトをルールに沿うように育てましょう。地区ロータリー財団委員に、出来るだけ早期から、何でも相談してください。
 - (4)学び楽しむ地区大会
地区大会では、親睦は重要な要素です。他クラブ、他地区や他国のクラブとの友好を深める事も大切です。本年度は、国際奉仕の時間を作る予定です。
 - (5)東日本大震災被災地への継続支援
 - (6)楽しいロータリーライフ(ロータリーデーへの参加・協力)
3. 目標として
- (1)職業奉仕の学習と実践
 - (2)会員増強(純増1名以上、SAKUJI作戦の最終年度)
 - (3)RI会長賞へのチャレンジ

- (1)職業奉仕部門を、本年度は、従来の奉仕プロジェクト部門に戻します。職業奉仕が社会奉仕や国際奉仕とは分かれたからといって、職業を通して社会の役に立つという考えは、何ら消失・変形するものではありません。従って、職業奉仕の活動ベクトルは、内向きでもあり、又外向きでもあるのです。例会で、職業奉仕が話題になることは非常に少ないのが現状かと思えます。ここらでもう一度先輩ロータリアンが作った言葉“職業奉仕”を真剣に考えてみる必要があらうかと思えます。
クラブで、各自の持っている職業奉仕観や、職業奉仕の実践例、失敗例、悩みなどの実例を発表する機会を出来るだけ多く持ちましょう。

“今日の例会では職業奉仕についてこんな為になることを聞いた。あの人も私と同じような悩みを持っていた、どうしたらよいのだろう”などなど話題になりました。

明日の仕事に役立つ事は、早速盛業に繋がります。仲間の問題も自分の事として考えられるようになれば、自然と仲間意識・友愛の気持ちも生まれましょう。役立つ話が聞かれ、仲間の親睦も増す例会となれば、退会者は減るでしょう。入会者は増えるかもしれません。クラブ内に友愛の精神が広がれば、クラ

ブ強化につながり、活動のエネルギーも高まりましょう。そのエネルギーを奉仕活動に注げば、きっと地域での評判もよくなりましょう。皆さんの内なる情熱に火がともれば、結果は自ずから明らかです。まず、一人一人が職業奉仕でいっそう輝きましょう。

(2)会員増強

会員数を130万人に増やそうというプログラムです。達成には現会員数の8%UPが必要です。2710地区では、1クラブ3~4人増やさねばなりません。

数の基点は、前年度末の会員数です。本年度の2710地区増員数120人(2014.4アンケート調査)では到底、達成不可能です。会員数の少ないクラブにとって1名以上は大変な負担でしょう。会員数の多いクラブは、それなりに増やすべくご努力を御願います。(もちろん大切なのは、会員維持です。十分情報を収集して、早めに手段を講じてください)

会員増強のためには、

- ①まず、ロータリアンは、必ずいつもロータリー・バッジ付けましょう。
 - ②そして、“そのバッジは?”と尋ねられたら、“ロータリーのバッジです”と誇りを持って答えましょう。さらに“ロータリーって?”と尋ねられたら、“人を支えようとする人の集まりです。週1回集まります。良い友人がたくさん出来ます。忙しくて毎週の例会に出られない時は、出来るときに奉仕プロジェクトに参加すればよいのです”と答えてください。
 - ③ロータリーアクト卒業生などの若い人、ロータリーファミリーの方々、あなたの知人、友人、主婦を機会あるごとに勧誘してください。
 - ④クラブでは、会長が音頭を取ってください。勇将の下に弱卒なしです。全員参加です。ある地区では、3人寄れば文殊の知恵にもう一人加えて4人グループで動くそうです。ロータリーの発足当時の4人組を思い出します。老・壮・青の構成でグループ化したり、同好会グループ、その他いろいろな選出グループが考えられます。良い人材は、クラブの宝です。一人/クラブ以上の会員を増やしましょう。
- (3)RI会長賞へのチャレンジでは、会員増強、奉仕、ロータリーファミリーの3部門があります。会員1名以上の入会、一つ以上の重点分野の奉仕活動を行うこと、クラブがロータリーデーを主催するか、あるいは最低5名の会員がロータリーデーに参加することが必須項目です。3部門にバランスよく活動することが大切です。
- (4)ロータリー財団支援(御願いごとですが)
- ①ポリオ・プラスへの支援 15ドル/人以上
 - ②年次基金への寄付 150ドル/人以上
 - ③恒久基金への寄付 全国平均以上の寄付、ベネファクター1人以上
 - ④ロータリーカードへの協力、各クラブの担当者を決定してください
- (5)米山記念奨学会支援 16,000円/人以上(普通寄付+特別寄付)
- (6)RI人頭分担金 54ドル/人
- (7)地区関係負担金 25,000円+700円/人(消費税8%上昇分を含む)

4 地区内主要行事(地区大会など)
地区指導者育成セミナー 2014年8月23日(土) …広島国際会議場地区大会

記念ゴルフ大会 2014年10月17日(金) …松永カントリー本会議 1日目 2014年10月18日(土) …福山ニューキャッスルホテル 2日目 10月19日(日) …リーデンローズ

5 海外関連主要行事

- (1)RI第3690地区大会 2015年4月または5月 (未定)
- (2)RI国際大会 2015年6月6~10日 …ブラジル・サンパウロ
日本人には、一番遠い所の国際大会でしょう。こんな機会でも無ければ、そうそう訪問する機会はない人が、大部分でしょう。これをチャンスと、参加し、サンパのリズムに酔ってみ

るのも一興でしょう。ぜひ多数のご参加を御願い致します。

さて、本年度は、ロータリー財団の夢計画も2年目に入ります。本年度地区補助金を利用した奉仕活動は、申請…18件、合格率15/18、約8割。プロジェクトの内容は、前年度に比してロータリー財団基準に合致したものの比率が高くなっています。良い傾向です。ニーズ掘り出し、プロジェクトを仕上げるには、十分な時間が必要です。2年に1回の申請・実行ベースの計画も考えてみてください。余裕のあるクラブは、もちろん毎年、申請・実行に、さらには経験あるクラブのアシストも得て、グローバル地区補助金申請に挑戦してください。

この他に、クラブ独自の資金で地域のニーズに応えることは、当然立派な奉仕活動です。どしどし、クラブで実践して下さることを願っています。

最後になりますが、ゲイリー・ホアン本年度会長のスローガン“LIGHT UP ROTARY”(ロータリーに輝きを)

は、ホアン本年度会長が世界最初のロータリアンと尊敬する“孔子”の言葉、「與其抱怨、不如改變」からきています。日本語的には、「否定的、消極的に考えているばかりでは、事は少しも変わらない」と否定表現されることでしょうか。これを西洋的に肯定表現で分かりやすく表現すると、「ただ黙って暗闇を恨むよりも、ろうそくに火を灯した方が良い」となります。英語では、「It is better to light a single candle than to sit and curse the darkness」と表現されています。

地域には、助けを必要とする人が大勢います。改善すべき事もたくさんあります。自分には到底何も出来ない、と座して静観していても、なにも変わりません。人は全てのことはできません。が、各人必ず何か出来ることがあるはず。あなたのまわりには、たくさんの方友人もいます。ろうそくに火を付けましょう。私達の放つ輝きは、暖かみがあり、思わず近づき、その一部となりたくくなるような輝きです。その輝きは、一人一人のロータリアンが、どう生き、考え、感じ行動するかに掛かっています。又、クラブが地区がその地域で日々、人々のために何をするかに掛かっています。却下照顧だ。小さな親切でもよい。身の回りにある自分の出来ることから一つずつ行動を起こし、継続しましょう。一つ一つの灯火は繋がってやがて線となり、固まりとなって大きな炎となりロータリーを煌煌と輝かせるでしょう。これまでの研修で得た知識・経験に加えてたくさん仲間をリソースとして、勇躍として奉仕の実践に邁進しましょう。そして、楽しいロータリーライフの1年にしましょう。

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区ガバナー
金子 克也 略歴

所属クラブ 福山南ロータリークラブ

生年月日 1940年12月3日

職業分類 外科医

学歴 岡山大学医学部卒業

職歴 1977年開業
財団法人K.F会理事長
青葉台クリニック名誉院長

主 公 職 (元)岡山大学医学部付属病院講師

ロータリー歴 1999年11月4日 福山南ロータリークラブ入会
2006-07年度 副会長・第二クラブ奉仕委員会委員長
2007-08年度 会長エレクト
第一クラブ奉仕委員会委員長
2008-09年度 会長
2010-11年度 会員組織委員会統括委員長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1回)
ベネファクター(1回)
米山功労賞(4回)



2014-15年度 テーマ LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを

2014-15年度 国際ロータリー会長 **ゲイリー C. K. ホアン** (台湾 台北RC)

ロータリーは、誰にでも何かをもたらしてくれます。ロータリアンは、1世紀以上にわたり、奉仕することを目的として、世界中の地域社会で集ってきました。創立以来、大勢のロータリアンが、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊、青少年交換や、その他多くのプログラムへの参加を通じて、ロータリーの奉仕の喜びを発見してきました。

私たちは皆、ロータリーファミリーの一員であり、ロータリーの奉仕の経験から多くを得ています。ロータリーを通じて私たちは、友情を育み、地元へ貢献し、また、より良く、より安全で健康な世界を実現するために力を尽くしてきました。そして、真に国際的なボランティアのネットワークを形づくっただけでなく、人々が互いの違いを乗り越えて手をつなげば、驚くべきことが達成できることを、実証してきました。

ロータリアンが大切にしてきた考え方や価値観の多くは、ロータリーに限られたものではありません。私自身がロータリーに深く共鳴するのも、ロータリーの価値観に、奉仕や責任の重視、家族や他者の尊重といった中華的価値観と重なるところがあるからだと思えます。

ですからロータリーの奉仕において、私はよく孔子の教えを指針とします。孔子は、私にとって「元祖ロータリアン」だと言ってもいいかもしれません。ポール・ハリスが誕生する2,000年以上前、孔子はこう述べています：

まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となる。

ロータリアンは、超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体に対する手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していくことが必要です。

2014-15年度には、ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらしていただけるようお願いいたします。

本ロータリー年度、新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、ロータリーを輝かせてください。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。例えば、地元で「ロータリーデー」を開催してロータリーを知ってもらいましょう。ロータリーはそれ自体がファミリーであり、家族のためのものですから、配偶者をはじめご家族に入会を検討するよう勧めるとともに、青少年交換の元参加者や財団学友にも声をかけましょう。クラブの現状を直視して、新会員の入会理由と、既存会員の退会理由を検討しましょう。そして、多忙な職業人やまだ幼い子供がいる人たちにとって、ロータリーを魅力的で興味をそそるものにするために何をできるか

考えてみましょう。

さらには、ポリオを撲滅して「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史に1ページを刻みましょう。ロータリアンのこれまでの勢いをもってすれば、今後数年以内にポリオを世界からなくすことは、明らかに可能です。ポリオ撲滅を実現することの重要性を、今こそ、ご友人、同僚、地元の議員や政府関係者に伝えてください。ポリオプラス基金に寄付し、ほかの方々にもそれを勧めてください。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの新しいチャレンジに応えることで、ロータリアンの資金を3倍生かすことができます。この史上最大の、公共・民間のパートナーシップに、ぜひともご参加いただき、ポリオのない世界が実現した際には、世界中の人たちと誇りと喜びを分かち合ひましょう。

2014-15年度、34,000を超える地域社会で、クラブを強化し、「ロータリーに輝きを」もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう。

翁共克

2014-15年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン氏 略歴

2000-01年度 国際ロータリー理事
2001-02年度 国際ロータリー副会長
2004-06年度 ロータリー財団管理委員
2014-15年度 国際ロータリー会長

ゲイリー C.K. ホアン氏は、中国の南部に生まれ、台湾で育ち、米国のイースタン・ミシガン大学を卒業した後、ニューヨーク州の保険大学でMBA取得されました。ホアン氏は、マヤ華僑保険会社の社長を務めた後、現在は新光セキュリティー会社の名誉会長となっております。

台湾非営利連盟から台湾市民奉仕賞、台湾内務省より卓越した社会奉仕貢献賞を受賞され、2001年のロータリーの国際大会では、米国テキサス州サンアントニオ市から「名誉市長」という称号を贈られました。

1976年以降のロータリアンであるホアン氏は、台北ロータリークラブの会員で、地区ガバナー、RIの理事、副会長、財団管理委員、ならびにその他数多くの委員会やタスクフォースの委員ならびに委員長を歴任されました。

氏は、アジアにおけるロータリーの会員増強に多大な貢献をされたほか、ロータリーの100周年記念には、ロータリー財団管理委員として、台湾に100名の新しいメジャードナーを誕生させる目標を立てました。その結果、2005年には106名、2006年には103名のメジャードナーが生まれ、当時の年次プログラム基金に200万米ドルを超える寄付を集めたことに成功しました。

ビジネスとロータリーでの経験をつづった著書「Finding Solutions, Not Excuses」を出版し、RI超我の奉仕賞、会長賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞されたホアン氏は、コリーナ夫人との間に、息子さんが1人、娘さんが2人おられ、全員がロータリー財団のメジャードナーです。



地区研修リーダー挨拶

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区研修リーダー・パストガバナー **前田 茂**

2014-15年、金子克也ガバナー年度がいよいよスタートラインに着いて万感をこめて出帆する時となりました。私は昨年次期地区研修リーダーを仰せ付けられ、9月5日地区研修リーダーセミナー(DTLS)が東京グランドプリンスホテル新高輪で開催され、出席してまいりました。そして2014-15年度地区研修リーダーとして、クラブや地区の指導者を研修する上でガバナーとガバナーエレクトを支え、ロータリアンへの継続的教育の提供に努めていくことになるわけであり、地区研修リーダーの責務は以下のようなこととなります。

- 地区研修委員会の委員長を務める
- ガバナーあるいはガバナーエレクトにより承認されたプログラムを実施する
- セミナーの研修リーダーとなる人物の特定に助力する
- 地区独自の研修方法を定める
- 地区での研修を管理する
- 研修を実施するほかの地区委員会と連絡を密にする
- 関連RI役員と相談する

地区レベル・クラブレベルでのロータリー強化の上で、研修は欠かせないわけであり、地区研修リーダーセミナー(DTLS)を少し紹介しながら私自身の思いを加えさせていただきますのでロータリー理解を深めていただき、有効且つ効果的な奉仕活動を展開していただければ幸いです。

1. 地区研修委員会の役割はクラブと地区のリーダーの研修および研修計画の監督において、ガバナーとガバナーエレクトを支援することです。地区研修委員会の責務は○研修プログラムの立案○ニーズの調査○準備の調整○予算の管理○資料の準備など○研修の評価分析○地区R財団セミナーと地区会員増強セミナーへのアドバイスや指針の提供○クラブ研修リーダーの支援などがあげられます。
2. 地区研修委員会の組織は地区のニーズに合わせて組織されます。各委員に一つの研修会を割り当てたり、全会合において委員が役割分担をすることもできます。いずれの方法でも、地区R財団委員会や地区会員増強委員会など研修会合の実施にかかわる委員会から研修委員会に参加してもらうことがより効果的であるということでもあります。
3. ロータリーの研修行事はガバナーエレクトが招集する行事(会長エレクト、地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会、地区会員増強セミナー)とガバナーが招集する地区研修行事(地区指導者育成セミナー、地区R財団セミナー、ローターアクト指導者研修会、地区内のその他の研修行事)があります。

ロータリーではクラブと地区の指導者が毎年変わるため、継続性をもつ上でも研修が極めて重要であります。研修の周期には柔軟性があり、地区や参加者のニーズに応じて修正することが可能です。

4. RIの現況と地区研修:統計に見るRIの現況は(2013年6月現在)全世界ロータリアン総数1,219,801人(4月)、クラブ数537クラブ(4月)、地区数537、ローターアクト会員数133,860人、ローターアクトクラブ数5,820クラブとなっています。現在ブランディングの推進、ロータリーのVoice(個性と性格)の認識がなされ、初の女性RI副会長、4名のRI理事が誕生しました。こうした変化に伴うためにもRIの戦略計画の推進が強調されてきております。各クラブが「ロータリー力」をつけるために○地域コーディネーターによる強力な支援クラブのサポートと強化○人道的方針の重点化と増加○公共イメージと認識度の向上というクラブ、地区をこえた連携、サポート、DLPとCLPが連動、機能して効果的に展開し賢明かつ粘り強く行動することが推奨されているところでもあります。こうした現況と計画に立脚して地区研修の在り方は次のように考えられます。○参加型研修の推進(RLI方式)○不用意な研修は百害あって一利なし○伝えるべきことと意見交換すべき課題の区別○予定発言者間の割合○評価書が用意されること○充分な反省を次に生かす等スパイラル(らせんの展開)の階段を一步一步スキルアップしていくことがクラブの「ロータリー力」に繋がっていくものと確信いたしております。何と言いましてもロータリーの歯車を回すことは一人一人のロータリアンにかかるとあり、歯車が回り始めれば自ずと生き方が変わってきます。一つの行動が自分自身を進歩へと導きます。この一年有意義な年度でありますようお祈り申し上げます。

平成26年7月1日

今後の研修予定

- 7月1日(火) | ガバナー、次期ガバナー懇談会
- 8月23日(土) | 地区指導者育成セミナー
- 9月20日(土) | 第6期RLI-2710パート3&卒後セミナー
- 10月17日(金) ~19日(日) | RI第2710地区大会
- 11月27日(木) ~28日(金) | ロータリー研究会



新年度への期待

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 パストガバナー **沖田 哲義**

いよいよ「金子丸」の船出です。誠にめでたうございます。満を持しての出航だと思いますが、この出航の目的は、「奉仕を学び、ロータリーを楽しもう」(ガバナー信条)とすることだそう。このために、地区運営の重点方針の筆頭として、「職業奉仕の学習と実践」を掲げられ、IMでの統一テーマもこれにされたとお聞きしました。ロータリーの奉仕活動の基本である職業奉仕に一方の軸足を置き、他方の軸足で「ロータリーを楽しもう」とするので、実にバランスの良いガバナー信条だと思います。その成果を大いに期待しています。

ところで、私は、私の年度のガバナー信条を「奉仕活動を見直そう、新しい奉仕活動への挑戦」としました。これは、私の年度がR財団における未来の夢計画の実施「初年度」だったからです。そこで、奉仕を実感できないようなマンネリ化した活動をこれを中止し、新しい奉仕活動に挑戦して頂きたいと訴えたのです。このためには、R財団に対する根強いアレルギーを解消する必要があると思い、夢計画における新地区補助金の詳しい説明とその有用性や、日本国内6つのパイロット地区における過去4年間の具体的事例の解説など、これに関する文章や資料を、皆様方に沢山お送りしました。また、アレルギーの背景の一つである「職業奉仕に対する理解不足」を解消するために、「職業奉仕とは」と題する三十数頁に及ぶ文章もお送りしました。そして、各クラブでの公式訪問におけるクラブフォーラムの際にも、これらについて十分ご説明しました。その結果、殆どのクラブか

らは、私の見解をご理解頂けたのではないかと自負しています。

それにしましても、74クラブを歴訪した結果、特に中小都市のロータリークラブにとっての対外的奉仕活動の中心が、青少年健全育成事業や環境保全を含めた街造り・街興し事業に移っていることを痛切に実感しました。これは、各ロータリークラブが、その地域でこのような事業を行うことを極めて強く求められており、また同時に大きく期待されているからだと思います。したがって、これらの事業の成否が、正に当該ロータリークラブの今後の存否にかかってくるといっても過言ではないと思います。しかし、このような事業を、「ロータリーとして完遂」させるには、対内的奉仕の中心である「職業奉仕」を、まず第一にロータリアンとしてしっかりと勉強し、同時に、ロータリークラブとしてはこのための研修(勿論、この研修の中で、職業奉仕を含めた5大奉仕全ての研修を行うことが望ましいことは、いうまでもありません。)を十分に行うことが必要だと思えます。

こうした意味からしましても、金子ガバナーが、「職業奉仕の学習と実践」を本年度の地区運営の重点方針の筆頭に挙げておられることに、深甚なる敬意を表したいと思えます。

最後になりましたが、任期の1年間というのは、その期間中においては実に長く感じるものです。しかし経ってみると、月並みな言い方ですが、あっという間です。金子ガバナーを含め、スタッフの皆様のこの1年間のご活躍を、衷心よりお祈り申し上げます。がんばってください。



地区幹事の役割 — 会合の調整、連絡の対応、記録の保管など —

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 **高橋 寛登**

1910年以来、RI理事会、RI国際大会、RI規定審議会において決定されたなかで、現在も有効とされている決定事項を取めたものにロータリー章典があります。その章典に地区幹事19.080があります。

ガバナーは地区幹事を任命することができる。幹事はロータリーの知識が豊富で、かつ地区会合に精通し、地区会合の調整、連絡の対応、地区会合の議事録作成、記録の保管に当たってガバナーを支援できるロータリアンであるべきである。とあります。

地区会合につきましては、8月に地区指導者育成セミナー、10月には地区大会、2月から4月にかけて、グループごとに行われるインターシティミーティング、3月には会長エレクト研修セミナー、地区チーム研修セミナー、5月には地区研修・協議会があ

ります。これらの会合が成功裡に終了することが、幹事に課せられた第一の任務と心得ています。幸い、当地区には、ベテランのスタッフが揃っていますので、その方達のご協力を得ながら、責めを果たしたいと思っています。

議事録の作成と記録の保管につきましては、地区指導者育成セミナー、地区大会の諸会合、グループごとのインターシティミーティング、会長エレクト研修セミナーと地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会の全体会議と分科会ごとの議事録の作成を目指したいと考えています。

ガバナーは、神輿に乗る人であり、幹事は神輿を担ぐ人です。このことに徹して、全力を尽くしますので、ご支援よろしくお願ひ致します。



沖田哲義直前ガバナーと 地区役員・委員の皆様への御礼

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー **金子 克也**

沖田哲義直前ガバナー、お疲れ様でした。3年間のご活動、ご指導に御礼と感謝申し上げます。

振り返ってみますと、沖田哲義直前ガバナーはエレクトになるやいなやガバナー信条を公表されました。こんなに早くガバナー方針を発表することは、前代未聞のことかと思えます。従来、ガバナーエレクトは、ガバナー方針を殆ど確定しておいて、前年度1月の国際協議会で発表される次年度RI会長方針との整合性を考えて最終決定し、そしてPETS&地区チーム研修セミナーで発表していました。

早々と国際協議会前に明確な方針を打ち出されたことは、確固たる見通しを持っておられたから出来たことなのでしょう。しかも半年後には、次年度ガバナー方針をびったり当てられるとは、お見事でした。先を見通す能力とそれに基づいて、周到な準備をできることは、リーダーとして大変重要な資質かと思えます。地区運営に対する熱い情熱の旗を掲げ、この1年間、下関軍団を率いて奮進されました。活動し続ける姿にも感服いたしました。私は、RI第2710地区の仕事にかかわるようになってから、明治維新の志士達のことを思い浮かべる機会が増えました。それは、ロータリー活動で、山口県の方々を知る機会が増えたからでしょう。山口県人は情熱・行動力・団結心の持ち主が多いように感じられます。山陽新幹線で下関～福山を往復する間、車窓風景の中に、その昔、多くの長州人が山陽路を東奔西走する姿や息吹を感じることが出来ます。山口県の方々の体の中には、知らず知らずして郷土の先輩達の大切な遺産が受け継がれ、脈々と流れているのではないのでしょうか。随分羨ましい限りです。

沖田直前ガバナーは、ガバナー信条、“奉仕活動を見直そう。新しい奉仕への挑戦”を旗印に、勇躍、船出されました。

この1年間、たくさんの活動をし、成果を挙げられました。

- 1.ロータリー財団の夢計画初年度に向けて、周到な準備をされ、準備態勢、クラブ組織の対応の必要性、奉仕活動の早期開始の必要性を訴えました。初年度は多くの困難が予測されましたが、結果的には多数の有意義な奉仕活動が行われました。十分な成果を挙げられました。今年度は、昨年の経験の上にさらに学習を重ね、充実した奉仕活動が出来ることを確信しています。
- 2.地区・クラブ組織改革(職業奉仕を含む会員開発委員会の新設)もされました。
- 3.国際協議会参加後、直ちにPETS&地区チーム研修セミナー及び引き続き地区協議会を開催されました。これら3つの行事をこんなに短期間で行うことは、並大抵の力量できる事ではありません。見事成功裡に終了されました。
- 4.PETS&地区チーム研修セミナーや、地区研修・協議会の招集者を、ガバナーエレクトとしました。当地区では従来当年度ガバナーが招集者となっていました。前年度沖田ガバナーの御英断で当地区でも初めて提唱者は、ガバナーからガバナーエレクトに替わりました。
- 5.個人的には、随時私の相談事に明るい声で明快に即答くだ

さいました。随分励みになりました。リーダーたる者、各あるべしと肝に銘じております。

1年任期制では、仕事をすればするほど後送りの宿題は、増えるものです。それは当然のことのことです。宿題は後に続く者への励みにもなります。活動への刺激になります。豪腕の沖田直前ガバナーからのプレゼント、私には背負いきれませんが、駅伝の次走者として“襷”は確かに受け取りました。身近で、沖田直前ガバナーの地区運営に対する熱い思いを一番強く感じた者の義務として、少しでもその思いを受け継いで、地区運営改善に向かいたいとおもっています。そして、爽やかな精神の持ち主、次走者東良輝ガバナーエレクトに喜んで受け取っていただけますよう、この1年走り続けなければと、覚悟を新たにしております。

2013-14年度、走り続ける沖田ガバナーを先頭に、指南役の研修リーダー岡田幹矢バスターガバナー、小倉國雄代表幹事ほか地区幹事の方々、地区チーム12名のガバナー補佐と地区委員会の方々、思い出に残る地区大会を実行した木下毅委員長等々の皆さんが一丸となって活躍され、成果を収められました。立派でした。次なる責任者として、羨ましく、又励みにもなりました。ありがとうございました。

多くの業績の中で特に個人的に記憶に残っているのは、下関東クラブ担当のRYLAの成功です。周到な準備の元、フィールド・ワークとディスカッションの1日半の講習。受講者は、夜遅くまで熱心に討議していましたし、会員のリーダーもほどよいアドバイスでした。受講生は最終発表で、力強いメッセージのプレゼンが出来ました。ロータリアンにも参考になる意見もたくさんありました。こんな集いをもっと数多く開いて欲しいという声も聴かれました。参加したバスターガバナーからは、回数を重ねるごとに受講生が成長してきているのがよく分かると、RYLA継続の成果を喜んでおられました。担当の方々の疲れは吹っ飛んでしまった様子でした。この光景を見て、私は迷い無く是非本年度もRYLAを継続すると宣言しました。木下稔青少年奉仕部会長のお骨折りや、バスターガバナーの御尽力で呉RCが本年度RYLAを引き受けて下さることになりました。現在着々と準備中です。この一連の過程で、下関や呉のロータリアンの気遣い、ご配慮を強く感じました。ありがたいことです。これこそクラブを超えた友愛、フェロウシップだとも思います。このような方々のいるクラブが地区内にあることに喜びと誇りを強く感じております。沖田直前ガバナーのおかげで、私のロータリーモーメントがひとつ増えました。

沖田直前ガバナーにおかれましては、3年間本当に、よく頑張られました。お疲れ様でした。今後は生活の両輪、活動と休養のバランスの取れた生活に戻してchange your life,ロータリーをエンジョイして下さい。

引き続き地区運営に御尽力下さいますことを御願ひいたしますと共に、益々ご健勝で過ごされますことを心から祈って謝辞とさせていただきます。



2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

RI 会長	
ゲイリー C. K. ホアン	台北

ガバナー	
金子	克也

RI 理事			
北 清治	浦和東	杉谷 卓紀	玉名

ガバナー指名委員会	
委員長	岡田 幹矢
委員	前田 茂
委員	田村 泰三
委員	大之木精二
委員	沖田 哲義

ガバナーエレクト	
東 良輝	

地区研修リーダー	
前田 茂	

地区財務委員会	
カウンセラー	諏訪 昭登
	小川 弘洋 ②福山南
	綿田 敏孝 ①宇部西
	古田 圭一 ③下 関

地区会計監査	
カウンセラー	岡田 幹矢

危機管理委員会	
カウンセラー	金子 信
委員長	沖田 哲義
委員	東 良輝
委員	田原 榮一
委員	危機管理規定による

地区諮問委員会	
PG 元 RI 理事	松本 卓臣 福 山
PG	真鍋 欣良 呉
PG	林 孝介 下関東
PG	筒井 数三 広島東
PG	天野 肇 福 山
PG 元 RI 理事	南園 義一 防 府
PG	仁田 一也 広島東南
PG	土肥 浩右 西 条
PG	西村 栄時 岩国西
PG	川妻 二郎 広島南
PG	新田 薫 山口南
PG	松本茂太郎 福 山
PG	永富 稔 下関東
PG	岩森 茂 広島北
PG	金子 信 萩
PG	諏訪 昭登 広島西
PG	岡田 幹矢 周南西
PG	前田 茂 三 次
PG	田村 泰三 柳 井
PG	大之木精二 呉
PG	沖田 哲義 下 関
GE	東 良輝 宇部西
GN	田原 榮一 広島中央

地区拡大委員会	
委員長	田村 泰三
委員	大之木精二
委員	沖田 哲義

地区研修委員会	
地区研修リーダー	前田 茂
地区研修・協議会	
地区指導者育成セミナー	
RLI	

月信編集委員会	
編集委員長	橋本 賢三
副編集委員長	多田 暁
編集委員	田頭 和規
編集委員	高橋 敦
編集委員	佐藤 明久
編集委員	近藤 政治
編集委員	筒井 良子

地区幹事	
代表幹事	高橋 寛登 福山南
副代表幹事	近本 肥子 福山南
副代表幹事	藪田 佑一 福山南
副代表幹事	北野 純寿 福山南
副代表幹事	菅本 栄介 福山南
副代表幹事	浅利 清 福山南
副代表幹事	橋本 賢三 福山南
副代表幹事	高垣 邦雄 福山南
副代表幹事	阿部 晋士 福山南
地区会計長	小川 弘洋 福山南
地区幹事	朝日奈正信 福山南
地区幹事	森 晃一 福山南
地区幹事	田頭 和規 福山南
地区幹事	木村 治雄 福山南
地区幹事	藤岡 一郎 福山南
地区幹事	高橋 敦 福山南
地区幹事	廣安 尚典 福山南
地区幹事	浦上 修 福山東
地区幹事	後藤 昇三 福山南
地区幹事	竹内 太甫 福 山
地区幹事	藤井 好夫 福山北
地区幹事	梶原 正己 福山南
地区幹事	三吉 孝治 福山南
地区幹事	仲達 吉晴 福山南
地区幹事	瀬来 和男 福山南
地区幹事	小山 卓志 福山南

地区事務局運営委員会	
カウンセラー	金子 信
委員長	川妻 二郎
委員	大之木精二
委員	沖田 哲義
委員	金子 克也
委員	東 良輝
委員	田原 榮一
委員	事務局運営規定による

国際大会推進委員会	
委員長	田村 泰三

RLI タスクフォース	
榎 賢志	東広島
安部 憲明	広島西
久笠 信雄	広島城南
中川 筆之	三 次
近本 肥子	福山南

地区大会実行委員会	
大会実行委員長	多田 暁
大会副実行委員長	井上 尚
大会副実行委員長	北野 純寿
大会幹事	柳井 誠治
大会副幹事	西村 和彦
大会副幹事	住吉 邦章
ホストクラブ	福山南 RC
コホストクラブ	福山 RC 松永 RC 府中 RC
	鞆の浦 RC 福山北 RC 福山東 RC
	福山西 RC 福山丸之内 RC 福山赤坂 RC
	地区大会

東日本復興支援委員会	
カウンセラー	田村 泰三
委員長	近本 肥子 福山南
委員	朝日奈正信 福山南
委員	北村富喜子 福山西
委員	小倉 國雄 下 関
委員	田村 邦夫 柳井西
委員	山崎 和之 宇 部

地区表彰 選考委員会	
委員長	田村 泰三
委員	大之木精二
委員	沖田 哲義
委員	東 良輝

ガバナー補佐	
G1	川崎 啓司 下関中央
G2	小松 一雄 美 祢
G3	渋谷 正 防 府
G4	西本 聡士 光
G5	藤本 俊文 岩国西
G6	高原 宏之 広島北
G7	神辺 眞之 広島東南
G8	伊藤富美雄 江田島
G9	森崎 正治 広島空港
G10	後藤 道幸 福山丸之内
G11	藤井 強 福山北
G12	谷 壮一郎 東 城
	74RC
	IM

地区事務局	
事務局長	朝日奈正信
事務局員	岡崎 由美
事務局員	布施美佐子

米山学友会	
会 長	島崎 高志 東広島

ロータリー財団学友会	
会 長	石神 輝雄

青少年交換学友会	
会 長	佐藤 貴俊

クラブ管理運営委員会	
カウンセラー	沖田 哲義
(全般)	浅利 清 ②福山南
	粟屋 克昭 ①宇部西
	吉村 彦士 ③長 門

広報委員会	
カウンセラー	大之木精二
(全般)	高垣 邦雄 ②福山南
	徳田 文男 ①宇部東
	小松靖之介 ③下関東

会員増強委員会	
カウンセラー	天野 肇
(全般)	菅本 栄介 ②福山南
	田中 敏夫 ①宇 部
	和田銀一朗 ③油谷湾

奉仕プロジェクト委員会	
(全般・職業奉仕)	カウンセラー 南園 義一
(全般)	藤岡 一郎 ②福山南
	塔野 毅 ①宇 部
	堀川 国彦 ③下関北

(社会奉仕・国際奉仕)	カウンセラー 西村 栄時
(青少年奉仕)	カウンセラー 金子 信

ロータリー財団委員会	
カウンセラー	川妻 二郎
カウンセラー	松本茂太郎
委員長	伊賀 訓之 徳山東
ポリオプラス小委員長	榎 賢志 東広島
補助金小委員長	八百谷俊昭 岩国西
資金推進小委員長	東 日出夫 光
資金管理小委員長	小田 大治 三 次
	川本 晏聖 福山東
	倉田 修三 下関東
	三宅 浩史 下関中央
	松井 敏 広 島
	奥先憲太郎 呉 南
	三吉 孝治 福山南
	松本 治彦 宇部西

米山記念奨学会委員会	
カウンセラー	仁田 一也
(全般)	仲達 吉晴 ②福山南
	浅山 琢也 ①宇部西
	井上 正明 ③下関西

IT 部会	
	森 晃一 ②福山南
	藤井 政夫 ①宇 部
	福田 維徳 ③下関西

ロータリー情報部会	
	木村 治雄 ②福山南
	佐藤 育男 ①宇部西
	室中 俊郎 ③下関西

雑誌「ロータリーの友」部会	
	田頭 和規 ②福山南
	藤里 隆 ①宇部東
	喜志永佳和 ③下関中央

職業奉仕部会	
	高橋 敦 ②福山南
	コンド・バーター ①宇部東
	弘永 裕紀 ③下 関

社会奉仕部会 (RCC 等)	
	廣安 尚典 ②福山南
	若林 功 ①宇部西
	山本 修司 ③下 関

国際奉仕部会	
	浦上 修 ②福山東
	福山 健二 ①宇部西
	畑 敏治 ③下関中央

青少年奉仕部会 (RYLA)	
	後藤 昇三 ②福山南
	金子 正己 ①宇 部
	木下 稔 ③下関東

RA (ローターアクト)	
	竹内 太甫 ②福 山
	西村 滋生 ①宇 部
	松井 繁之 ③下関北

IA (インターアクト)	
	藤井 好夫 ②福山北
	末富 秀史 ①宇部西
	岡田 健 ③下関東

青少年交換	
	梶原 正己 ②福山南
	福田 信二 ①宇 部
	上野 宗則 ③下関東

地区ロータリー財団監査委員会	
委員長	前田 茂 三 次
	久笠 信雄 広島城南
	大上 功 呉

国際ロータリー第2710地区 2014-15年度 組織図



国際ロータリー第2710地区 2015-16年度

ロータリー青少年交換 長期派遣学生募集要項

高校生の国際的な交換留学を通して、文化交流による世界理解を深めるプログラムです。心身ともに健全でロータリーの国際親善大使としてふさわしい高校生多数の応募を願っています。

1. 留学先	アメリカ・フランス・カナダ・スウェーデン その他(希望を考慮します)
2. 派遣期間	2015年8月から1年間
3. 募集人数	4～5名
4. 派遣先での生活	受入ロータリークラブの会員家族並びに受入ロータリークラブにより選ばれた家族が滞在期間中のホストファミリーになります。原則として、3ヶ月ごと4家族でそれぞれの家族の一員として生活をともにし、高校に通学します。
5. 派遣期間の費用負担	本人の往復航空正規運賃及び渡航手続き、各種保険料、出発前研修費用等の諸費用及び若干の所持品は自己負担ですが、海外における滞在費と学費は受入側が負担します。こちらに受入れた学生の費用は日本のロータリーの負担です。
6. 応募資格と条件	以下の資格及び条件を満たしていることが必要です。 a) 国際ロータリー第2710地区(広島県・山口県)内に居住またはその地区の高校に在学(又は在学予定)し、1997年4月2日～2000年4月1日に生まれた心身ともに健康な男女。 b) 保護者の承認があり、且つ通学する学校長及び区域のロータリークラブ会長の推薦が得られる者(ロータリアンの子弟でも可)。 c) 学業の成績が一定水準以上の者で、海外生活に積極的に参加する意欲のある者。 d) 応募者の通学している高校は、来日交換学生の受入高校になることが望ましい。 e) 派遣国の希望には出来るだけ沿うように努力しますが、最終的にはこちらの決定に従って頂きます。
7. 申込方法	a) 居住区域内のロータリークラブに応募したい旨ご連絡ください。 b) ロータリークラブより応募の許可を受けた後、必要書類(①青少年交換派遣申込書②高等学校長推薦状③その他ロータリークラブより要請のあった書類)を揃え、ロータリークラブへご提出ください。ご提出いただいた書類は、ロータリークラブを経由して国際ロータリー第2710地区事務局へ提出されます。 ※高等学校長推薦状には必ず校長先生ご本人様のご署名をいただかれますよう、お願い申し上げます。 ※控えとして申請書類のコピーをお取りください。
8. 応募締切	推薦ロータリークラブ経由で、2014年9月30日(火)必着で国際ロータリー第2710地区事務局へご提出ください。
9. 選考方法	試験内容は、書類選考、英語力テスト、面接(本人及び保護者)で2014年10月26日(日)を予定。
10. 合格発表	試験終了後2週間以内に推薦ロータリークラブ会長宛に通知します。
11. 研修会の開催	合格者は出発までに数回の研修会に参加する義務があります。
12. 注意事項	合格者は当地区より受入地区に推薦され、相手地区の受入保証を得てはじめて正式に地区交換学生として決定されます。また、交換学生の派遣ロータリークラブは同時に受入学生の受入ロータリークラブになる義務が生じます。

国際ロータリー第2710地区 2014-15年度 地区関係資金 収支予算書(案)

《収入の部》

科目	金額
地区事務局運営関係費	28,800,000
研修関係費	8,640,000
各種委員会奉仕活動費	23,360,000
雑収入	0
RI補助金	2,000,000
ホストクラブ等補助金	0
小計①	62,800,000
ガバナー会連絡会議負担金	640,000
ロータリー文庫運営協力金	960,000
地区大会分担金	19,840,000
小計②	21,440,000
合計(①+②)	84,240,000

《支出の部》

科目	金額
地区事務局運営関係費	30,800,000
研修関係費	8,640,000
各種委員会奉仕活動費	23,360,000
小計①	62,800,000
ガバナー会連絡会議負担金	640,000
ロータリー文庫運営協力金	960,000
地区大会分担金	19,840,000
小計②	21,440,000
合計(①+②)	84,240,000

会員数:3,200人で試算

	年間 (一人当り)	前期	後期
地区事務局運営関係費	9,000	4,500	4,500
研修関係費	2,700	1,350	1,350
各種委員会奉仕活動費	7,300	3,650	3,650
ガバナー会連絡会議負担金	200	100	100
ロータリー文庫運営協力金	300	150	150
地区大会分担金	6,200	6,200	0
合計	25,700	15,950	9,750

《RI人頭分担金他 送金明細表》

区分	年間 一人当り	前期 7月送金	後期 1月送金	報告先	送金先
人頭分担金	54ドル	27ドル	27ドル	RI日本事務局	三井住友銀行 新宿通支店 (普)6733244 名義:国際ロータリー日本事務局 事務局長 加倉井隆男 Tel:03-3903-3183
規定審議会分担金	1ドル	1ドル	-		
ザ・ロータリアン誌購読料	24ドル	12ドル	12ドル		
ロータリーの友購読料(※)	2,592円	1,296円	1,296円	ロータリーの友事務所	三井住友銀行 浜松町支店 (普)7450015 名義:一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel:03-3436-6651
ロータリーの財団への寄付				RI日本事務局	三井住友銀行 赤羽支店 (普)3978101 名義:公益財団法人ロータリー日本財団 Tel:03-3903-3192
ロータリー米山記念奨学会への寄付				ロータリー米山記念奨学会	三井住友銀行 京橋支店 (普)0920373 名義:公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 Tel:03-3434-8681

※2014年4月1日からの消費税8%に伴う変更



国際ロータリー第2710地区 2014-15年度 月別 公式訪問予定表 2014年 7月～12月

7月	曜日	グループ	クラブ名
7/14	(月)	10	福山
7/15	(火)	3	防府
7/16	(水)	6	広島東
7/17	(木)	2	萩
7/18	(金)	7	広島南
7/22	(火)	4	周南西
7/23	(水)	8	呉東
7/24	(木)	8	呉
7/25	(金)	5	岩国西
7/28	(月)	7	広島東南
7/29	(火)	1	長門
7/30	(水)	4	徳山東
7/31	(木)	8	西条
8月	曜日	グループ	クラブ名
8/1	(金)	3	山口南
8/4	(月)	1・3	下関・18:30 防府北
8/5	(火)	5	柳井
8/6	(水)	1	下関西
8/7	(木)	1	下関東
8/18	(月)	11	松永
8/19	(火)	2	宇部西
8/20	(水)	2	小野田
8/21	(木)	6	広島北
8/22	(金)	11	福山北
8/25	(月)	7	広島中央
8/26	(火)	7	広島西南
8/27	(水)	6	広島陵北
8/28	(木)	7	広島西
9月	曜日	グループ	クラブ名
9/1	(月)	4	光・18:30 徳山セントラル
9/2	(火)	6	広島
9/3	(水)	2	宇部東
9/4	(木)	12	三次
9/8	(月)	11・10	福山赤坂・19:00 福山丸之内
9/9	(火)	2	萩東・18:00 美祢
9/11	(木)	8	江田島
9/12	(金)	7	広島城南
9/16	(火)	9	三原
9/17	(水)	9	広島空港
9/18	(木)	3	防府南
9/19	(金)	1	下関中央
9/24	(水)	12	東城 12:15
9/25	(木)	9	竹原
9/29	(月)	12	三次中央
9/30	(火)	12	庄原

10月	曜日	グループ	クラブ名
10/2	(木)	9	因島
10/3	(金)	9	尾道
10/6	(月)	10	府中 18:30
10/7	(火)	8	呉南
10/8	(水)	3	山口
10/9	(木)	5	柳井西
10/14	(火)	12	吉舎
10/21	(火)	6	大竹
10/22	(水)	1	油谷湾
10/23	(木)	6	広島安佐
10/27	(月)	8	東広島21 18:30
10/28	(火)	9	尾道東
10/29	(水)	9	瀬戸田
10/30	(木)	5	岩国
11月	曜日	グループ	クラブ名
11/4	(火)	1	下関北
11/5	(水)	5	岩国中央
11/6	(木)	2	宇部
11/10	(月)	7	広島廿日市
11/11	(火)	6	広島安芸
11/13	(木)	4	徳山
11/14	(金)	10	福山REC2710
11/18	(火)	8	東広島
11/19	(水)	10	福山東
11/20	(木)	11	福山南
12月	曜日	グループ	クラブ名
12/2	(火)	3	山口県央
12/9	(火)	10	鞆の浦
12/16	(火)	11	福山西

国際ロータリー第2710地区 2014-15年度 主要日程表 2014年 7月～12月

日程	曜日	開催行事	場所
7/1	(火)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
7/2	(水)	ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪
7/6	(日)	RA第1回地区協議会	広島市
7/13	(日)	第1回諮問委員会 金子年度	
7/19	(土)	米山研修旅行 1泊2日 20日(日)まで	島根・鳥取方面
7/20	(日)	第1回青少年交換委員会 受入カウンセラー・ホストファミリーオリエンテーション	ホテルグランヴィア広島
7/26	(土)	第38回IA地区大会 27日(日)まで	担当:鈴峯高等学校(広島西RC)
8/23	(土)	地区指導者育成セミナー(会員増強/R財団合同) 金子年度	ホテルグランヴィア広島
9/7	(日)	第2回青少年交換委員会 受入学生・帰国学生オリエンテーション、歓迎懇親会	ホテルグランヴィア広島
9/20	(土)	第6期RLI-2710 パート3&卒後プログラム	ホテルグランヴィア広島
9/27	(土)	第1回 ガバナー補佐会議 東年度	ホテルグランヴィア広島
10/17	(金)	地区大会 記念ゴルフ大会 金子年度	松永カントリー倶楽部
10/18	(土)	地区大会 第1日目 金子年度	福山ニューキャッスルホテル
10/18	(土)	第2回諮問委員会 金子年度	
10/18	(土)	日韓交流パーティ	
10/19	(日)	地区大会 第2日目 金子年度	福山リーデンローズ
10/26	(日)	第3回青少年交換委員会、派遣学生選考会	ホテルグランヴィア広島
11/1	(土)	RA海外研修 3日(月)まで	D3480 台湾
11/2	(日)	福山東RC 創立30周年	福山ニューキャッスルホテル
11/8	(土)	吉舎RC 創立40周年	未定
11/15	(土)	竹原RC 創立50周年	未定
11/25	(火)	ロータリー財団地域セミナー	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
11/26	(水)	メジャードナー午餐会	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
11/27	(木)	第43回ロータリー研究会 28日(金)まで	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
12/6	(土)	第4回ガバナー補佐会議 金子年度	ホテルグランヴィア広島
12/7	(日)	第2回ガバナー補佐会議 東年度	ホテルグランヴィア広島
12/21	(日)	第4回青少年交換委員会 第1回派遣学生オリエンテーション、クリスマス会	ホテルグランヴィア広島
12/23(火・祝)		第7期RLI-2710 パート1	広島国際会議場



国際ロータリー第2710地区 2014-15年度 ガバナー補佐紹介

<p>G1</p> <p>長門 下関 下関中央 下関東 下関北 下関西 油谷湾</p> <p>下関中央RC かわさき けいじ 川崎 啓司</p>	<p>G2</p> <p>萩 萩東 美祿 小野田 宇部 宇部東 宇部西</p> <p>美祿RC こまつ かずお 小松 一雄</p>	<p>G3</p> <p>防府 防府北 防府南 山口 山口県央 山口南</p> <p>防府RC しぶや ただし 渋谷 正</p>
<p>G4</p> <p>光 周南西 徳山 徳山セントラル 徳山東</p> <p>光RC にしもと さとし 西本 聡士</p>	<p>G5</p> <p>岩国 岩国中央 岩国西 柳井 柳井西</p> <p>岩国西RC ふじもと としふみ 藤本 俊文</p>	<p>G6</p> <p>広島 広島安芸 広島安佐 広島東 広島北 広島陵北 大竹</p> <p>広島北RC たかはら ひろゆき 高原 宏之</p>
<p>G7</p> <p>広島中央 広島廿日市 広島城南 広島南 広島東南 広島西南 広島西</p> <p>広島東南RC かんべ まさゆき 神辺 眞之</p>	<p>G8</p> <p>江田島 東広島 東広島21 呉 呉東 呉南 西条</p> <p>江田島RC いとう ふみお 伊藤 富美雄</p>	<p>G9</p> <p>広島空港 因島 三原 尾道 尾道東 瀬戸田 竹原</p> <p>広島空港RC もりさき まさはる 森崎 正治</p>
<p>G10</p> <p>府中 福山 福山東 福山丸之内 鞆の浦 福山REC2710</p> <p>福山丸之内RC ごとう みちゆき 後藤 道幸</p>	<p>G11</p> <p>福山赤坂 福山北 福山南 福山西 松永</p> <p>福山北RC ふじい つよし 藤井 強</p>	<p>G12</p> <p>吉舎 三次 三次中央 庄原 東城</p> <p>東城RC たに そういちろう 谷 壮一郎</p>

会長・幹事さんへのお願い

◆ 半期報告、人頭分担金

RI事務局、RI日本事務局及び米山記念奨学会、地区事務局への報告や送金は所定通り、確実、速やかにお進めください。

◆ 各種報告書

年度を通じ、研修会登録やアンケート等の提出をお願いすることとなりますが、メスは厳守をお願いいたします。

◆ 会員増減・出席率報告

月末会員数及び出席率の報告は毎月26日～翌月14日まで(14日が休日の場合は随時変更あり)に、ホームページ上よりご報告ください。

◆ 新会員報告

新会員報告は毎月26日～翌月10日の間に、ホームページ上よりご報告ください。

◆ 訃報届

《C》会員訃報届(エクセルデータ)を入力し、写真データ(JPGデータ)を添えて、至急地区事務局へメールにてご連絡ください。やむを得ず紙焼きの場合は、裏面にクラブ名及び氏名を必ず明記し、ご郵送ください。

◆ RI日本事務局

会員の入会、退会、変更(職業分類・会員資格・住所など)は必ずその都度RI日本事務局へお知らせください。

◆ 重要なお問合せ

間違いが起こらないよう、E-mail (info@ri2710.com)にてお問合せください。

◆ 緊急連絡

各クラブにおいて緊急の連絡に対応できる態勢を整えておいてください。

◆ 特別寄付者

米山記念奨学会及びロータリー財団への特別寄付者については、その都度、至急地区事務局へご報告ください。尚、米山功労者、ポール・ハリス・フェロー等については回数も同時にご記入をお願いいたします。

◆ ロータリーの友、ガバナー月信について

ロータリーの友、ガバナー月信の精読を、例会時に強調してください。

◆ クラブ週報について

ロータリーの友編集部より、クラブ週報送付の要請がありました。現在友編集部へ送付されているクラブにつきましては、引き続きお願いいたします。送付されていないクラブにつきましては、郵送またはメール(hensyu@rotary-no-tomo.jp)にて、友編集部宛にお願いいたします。送付間隔は週単位、月単位などクラブで自由に決めていただいて結構です。

文庫
通信

321号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

■ 古典文献より(1)

米山日満ロータリー聯合会々長の演説 (東京ロータリー倶楽部創立十九周年記念会に於ける)	米山 梅吉	1939	2p	(日満ロータリー月報)
日満ロータリー新機構の準備		1939	2p	(国際ロータリー月報)
日満ロータリー聯合会記録		1939	1p	(日満ロータリー月報)
コンフェレンスのあと1~3	米山 梅吉	1931	25p	D.70
教科実習 行商日記(1)	古澤 文作	1903	4p	(実科教育第四号)
教科実習 行商日記(2)	古澤 文作	1903	6p	(実科教育第五号)
非常時局とロータリー精神	南 次郎	1939	4p	京城R.C. (国際ロータリー第七十区第拾年次大会(京城))
ロータリーの起源と精神	伊藤次郎左衛門	1934	5p	(ロータリー第七十区第六年次大会記録)
年次大会講演	井坂 孝	1936	4p	神戸R.C. (国際ロータリー第七十区第八年次大会)
年次大会講演	村田 省蔵	1936	4p	神戸R.C. (国際ロータリー第七十区第八年次大会)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL:(03)3433-6456 FAX:(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館:午前10時~午後5時 休館:土・日・祝祭日

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710.com/

2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

FUKUYAMA SOUTH ROTARY CLUB



1

Vol.

2014年 7月号

創刊号



福山城

CONTENTS

[ガバナー月信7月号]

ガバナーメッセージ・略歴..... 2~3	前年度役員への御礼..... 7	主要日程表..... 13
RI会長メッセージ・略歴..... 4	2014-15年度組織図..... 8~9	ガバナー補佐紹介..... 14
地区研修リーダー挨拶..... 5	青少年交換長期派遣学生募集要項..... 10	会長・幹事さんへのお願い..... 15
直前ガバナー挨拶..... 6	地区関係資金収支予算書(案)..... 11	文庫通信..... 15
地区代表幹事挨拶..... 6	公式訪問予定表..... 12	地区大会予告広告..... 16